

前回会議の概要（意見とその対応案）について

国土交通省 水管理・国土保全局
下水道部 下水道事業課
令和5年12月18日

1. 事業マネジメント(方向性、定義等)について

委員の意見	対応
<p>アセットマネジメントを既に進めている自治体もあることから、事業マネジメントの位置づけ(定義)は、ストックマネジメント、アセットマネジメントとの関係性を含めて、明確にして欲しい。</p>	<p>ガイドライン第1章第1節 事業マネジメントの定義において、事業マネジメントの位置づけを明確にしました。</p>
<p>各種施策の「優先順位」という表現は、同時達成する場合や順番が入れ替わる可能性も考えられるため、「優先度」や「優先レベル」といった優先の度合いを示す表現が馴染むものとする。</p>	<p>「優先順位」から「優先度」に表現を改めました。また、「優先度」を設定するにあたり、バランスをもって総合的に判断することをガイドライン第3章第4節 施策相互の調整に記載しました。</p>
<p>優先度の設定をどういった表現(概念)でガイドラインに示していくのか検討が必要。 →各施策を実施する場合のメリットや実施しない場合のリスク等を含めて、例示することが効果的だと思われる。</p>	
<p>事業マネジメントをどのタイミングで検討(作成)するのか明示することが必要である。</p>	<p>事業マネジメントは新たに計画を策定するものではなく、常に意識するものとしてガイドライン第3章第1節に記載しました。</p>
<p>財源や人的資源等の制約条件は、施策と同様に事業マネジメントを行う上では非常に重要である。</p>	<p>ガイドライン第4章 事業マネジメントの向上に資する取り組みにおいて、財源や執行体制について記載しました。</p>

2. 事業マネジメントを推進するために必要な事項

委員の意見	対応
<p>様式1(アウトプット)の検討の前に、ガイドラインへ盛り込むべきプロセスや考え方などの内容について議論が必要である。</p>	<p>今回の会議資料3にて議論させていただきたいと思います。</p>
<p>施策の連携・調整事例を示しているが、様式1との結びつきがわかりにくい。この事例をどう活用していくのか、活用法を含めて検討が必要である。</p>	<p>ガイドライン第3章第4節 施策相互の調整において記載しておりますが、各施策で予定している事業内容・実施時期を調整することで、より効率的な事業実施が可能となるものと考えております。本ガイドラインにおいて、事例を示すことで、事業内容の調整の参考となると考えております。</p>
<p>様式1は全国共通か、事業主体ごとに変更するものか。 →全国共通と考えているが、意見をいただきたい。</p>	<p>今回の会議資料3にて議論させていただきたいと思いますが、全国共通とすることを考えております。</p>
<p>様式1改良案の項目が記載しにくいのではないかと。 「●●市ではこういった方針で進めていく」といった表現にするようなものでも良いのではないかと。</p>	<p>今回の会議資料3にて議論させていただきたいと思います。</p>